

平成27年 2月18日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 総務部長 安藤 幸司
(TEL. 052-446-6100)

名古屋大学における産学協同研究講座設置のお知らせ

国立大学法人名古屋大学（所在地：愛知県名古屋市、総長：濱口 道成、以下「名古屋大学」）において、当社と名古屋大学の産学協同研究講座「薬剤科学・分析化学講座」および「新薬創成化学講座」の設置について、平成27年2月17日付で承認されましたのでお知らせします。

本協同研究講座設置に伴い、現在、愛知県知多郡武豊町で研究活動を行っております当社化学研究部の名古屋大学東山キャンパス内「ナショナル・イノベーション・コンプレックス施設（NIC施設）」への移転を予定しております。

名古屋大学は、平成25年4月に産学協同研究講座・部門制度を制定しました。この制度は、名古屋大学が一般企業から経費と人材を受け入れ、企業主導の研究テーマを実施する協同研究講座を設置することで、名古屋大学の教育研究の進展及び充実を図るとともに、研究成果の社会・産業界への移転促進を目的としています。

当社は、名古屋大学へ産学協同研究講座を設置することで、アカデミアとのシナジーを最大限に発揮できる体制を充実させ、効率的な研究開発体制の構築を目指します。また、当社がこれまで培ってきた創薬研究のノウハウと、名古屋大学の学術研究を組み合わせることにより、産学連携の下で画期的な新薬の創出を目指してまいります。

本件による平成27年12月期通期業績に対する影響につきましては、産学協同研究講座設置のための移転に伴う支出として246百万円を見込んでおり、当社が平成27年2月13日に公表した平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）に織り込み済みです。現在、内容を精査しており、公表した業績数値に変更が生じる場合は、その影響が判明次第速やかに公表いたします。

以 上

【産学協同研究講座「薬剤科学・分析化学講座」の概要】

1. 設置する大学および部局 : 名古屋大学大学院医学系研究科
2. 所在地 : 愛知県名古屋市千種区不老町 (名古屋大学 東山キャンパス)
3. 協同研究講座の名称 : 薬剤科学・分析化学講座
4. 設置期間 : 平成27年4月1日～平成30年3月31日
5. 企業出向教員 : 岩田 康弘 特任准教授
大見 仁 特任助教
宍戸 祐二 特任助教
6. 目的 : 新薬の探索研究サイクルの実践を通じて薬剤科学・分析化学技術を活用し、化合物特性の評価ならびに最適化のための方法論ならびに手法の確立に寄与することを目指す。
7. 内容 : 1. 薬剤科学・分析化学評価系の探索・検討および実践的活用
2. 医薬品開発上の薬剤科学面のリスク分析および解決手段の検討
3. 生物学的評価に供する化合物の高速供給を可能にするプラットフォーム技術の開発と実践

【産学協同研究講座「新薬創成化学講座」の概要】

1. 設置する大学および部局 : 名古屋大学大学院創薬科学研究科
2. 所在地 : 愛知県名古屋市千種区不老町 (名古屋大学 東山キャンパス)
3. 協同研究講座の名称 : 新薬創成化学講座
4. 設置期間 : 平成27年4月1日～平成30年3月31日
5. 企業出向教員 : 森田 幹雄 特任准教授
野口 洋英 特任准教授
山岸 竜也 特任助教
6. 目的 : 系統的かつ論理的なデザインと合成により医薬品候補化合物を創出するとともに、実践的な方法論の確立を目指す。
7. 内容 : 1. 医薬候補化合物のデザインおよび合成技術に関する研究
2. 新薬探索プログラムにおける候補化合物の探索ならびに最適化研究

<ご参考>

【国立大学法人 名古屋大学】

名古屋大学は、明治4年に名古屋藩の仮医学校・仮病院として発足して以来、約140年の歴史と伝統を持つ、日本で最も古い大学の一つです。昭和14年に医学部と理工学部からなる名古屋帝国大学となり、昭和24年に新制名古屋大学として再出発しました。直近では平成24年に大学院創薬科学研究科が設置され、現在では9学部14研究科、3つの附置研究所など数多くの研究施設を擁する国立総合大学となりました。21世紀に入ってからノーベル賞を受賞した日本人12名のうち6名が名古屋大学関係者であり、世界中に数多くの人材を輩出し続けています。産学官連携研究においても積極的・組織的に推進しており、平成26年には既存の3組織を一体化する形で「学術研究・産学官連携推進本部」が設置されました。基礎研究から産学連携に至るまで一貫した体制を持ち、名古屋大学と企業・地域を結ぶネットワークを構築することで、中部地域のものづくり拠点としての持続的発展を目指しています。

【ナショナル・イノベーション・コンプレックス施設 (NIC 施設)】

名古屋大学は、「平成24年度地域資源等を活用した産学官連携による国際科学イノベーション拠点整備事業」に採択されたことを受け、名古屋大学東山キャンパス内に「ナショナル・イノベーション・コンプレックス施設 (NIC 施設)」の整備を進めており、平成26年度内の運用開始を予定しています。

詳細につきましては名古屋大学ホームページをご参照下さい。

<http://www.coi.nagoya-u.ac.jp/facility/nic>